

## スキマバイトの光と影

―自由と引き換えの不安定を体験して

黒川 伊織\*



みなさま、はじめまして。黒川伊織と申します。平日は零細企業の取締役として働くとともに大学の非常勤講師を務め、土日は神戸大学協力研究員として日本近現代史の研究を続けています。さらにアルバイトで大阪産業労働資料館（エル・ライブラリー）という専門図書館での資料整理やレファレンス業務を行い、フリーランスのライターとしても働いているので、仕事のかけ持ち歴は10年以上に及びます。

プラットフォーム労働者は雇用労働者なのか個人事業主なのかとかという議論が先ほどからなされていますが、いまは雇用労働者のなかでも、そういったプラットフォーム労働が行われ、広がっているという現実について、今日はお話しいたします。私がプラットフォーム労働を行っていた時期は、コロナ禍がやや落ち着いた2022年11月からの約1年強で、その限りで、最新の情報とはいえませんが、私の経験をはじめ、一緒に働いていたほかの方々からお聞きした生の声をお伝えすることで、プラットフォーム労働の現実とその広がりについて考えるきっかけとなればと思っています。

### クラウドワークスに登録してみた―最低賃金以下！

私は、日本近現代史のなかでも、社会運動や労働運動を研究対象としています。しかし今の多様な働き方を自分自身が経験していないまま、労働運動についてあれこれ話をするのはおかしいと感じて、半ば潜入取材としてプラットフォーム労働をはじめました。まず、クラウドワークスというサイトで仕事を探しました。このサイトはオンライン上で仕事を受注し、納品するフリーランスの仕事でしたが、1つの仕事に数名から多い場合には50名近くが応募し、クライアント側がどのワーカーを利用するか選考します。仕事を確実に受注するには、自己アピールや、スキル、最終学歴、あるいはこれまでの自分がやってきた成果物をサイト上で公開する必要があります。ただし、私自

---

\*黒川伊織（くろかわ・いおり） パンデックス株式会社取締役、神戸大学大学院国際文化学術研究科協力研究員、桃山学院大学兼任講師、公益財団法人大阪社会運動協会非常勤職員、大阪産業労働資料館（エル・ライブラリー）特別研究員。著書に『戦争・革命の東アジアと日本のコミュニスト』（有志舎、2020年）、『神戸〈生きられた運動経験〉の貫戦史―海港都市が生んだ〈抵抗と文化〉／〈抵抗の文化〉』（小ざ子社、2026年5月刊行予定）など。

身はSNSすらしていませんし、研究者情報以外の個人情報公開することにも抵抗がありました。しかも得意なライター業で仕事を探したら、1文字あたり1円からよくても3円という低単価な案件ばかりで、執筆にかかる時間を考えると最低賃金以下になってしまいます。これは、自分がこれまで磨いてきたスキルを安売りするだけのように感じて、クラウドワークスは利用しないことにしました。

### フルキャストでの就業——コールセンターと食肉加工工場

それならば心機一転、やったことのない仕事をしてみようと考え、職業紹介事業会社大手のフルキャストにワーカー登録しました。登録はオンラインで本人確認書類をアップロードするだけで、面接や履歴書の提出などは不要です。登録後、私はパソコンからフルキャストのキャストポータルというサイトにログインして仕事を探しました。日付・給与体系（時給・日給など）・最寄り駅や鉄道路線・職種などを選択して仕事を探せます。私は職場から徒歩10分のコールセンターでのテレビ通販の受注業務に応募し、選考結果を待ちました。すると、3時間程度で選考を通過したとの電話がフルキャストの担当者からあり、その1週間後から平日の終業後や土日祝日に働きはじめました。

コールセンターでは、受話器の受電ボタンが光った瞬間にそれを押さなければいけないので、現場は誰が一番に電話を取るかという大早押しクイズ大会のようになっていました。私は電話をかなり取っていたので、ある時間まで働くと、今まで取っていない人がやればいいから今日はもう電話を取らなくていいなどと正社員の方から労っていただくなど、風通しがよく働きやすい現場だったのですが、そのコールセンターが、私が担当していた案件を継続して落札できなかったため、この仕事自体がなくなってしまいました。プラットフォーム労働の不安定さを象徴しているかのような経験でした。

フルキャストでは食肉加工工場にも行きました。室温5度の冷蔵室の中で冷凍の鶏肉の皮をはぐ作業で、10分置きにお湯に手を入れないとゴム手袋をしていても手がかじかむという肉体的にも厳しい現場でした。それ以上に嫌だったのが、正社員の男性、パートの女性、「日々雇用」で働く私たち（プラットフォーム労働者は、フルキャストのような職業紹介事業会社を介して就労先の企業と1日単位で労働契約を結んでいるので、正式には「日々雇用」とされています）では座る場所も決められており、私のような「日々雇用」は、備品の電子レンジもポットも使用させてもらえなかったことです。

### タイミーでの就業——飲食店・ピッキング・ホテル宴会場

フルキャストで応募すると就業先による選考があり、すぐに仕事が決まるわけではありません。そんな時、飲食チェーン店で正社員として働く長男からタイミーの話聞き、すぐにスマホにアプリを入れてワーカー登録をしました。登録方法はフルキャストと同じでした。「時間が空いたから働こう」と思ったら、タイミーのアプリに働ける時間帯や希望の職種・地域などを入力して仕事を探します。そこで都合のいい仕事が見つかったら、時給や交通費などの募集詳細を確認して申し込みへと進み、当日持参する物（制服のない飲食店では、黒ズボンと白シャツがマストアイテムで

す)と働くための条件(たとえば飲食店のホール経験があるなど)を確認して、申し込みをタップすると仕事が決まります。フルキャストのように選考がなく先着順で仕事が決まるのが魅力的でした。そしてアプリ上で労働条件契約書を交わし、店舗と私の間で「日々雇用」としての雇用契約が成立します。

タイミーで働きはじめたのは、2023年の1月3日からです。最初に働いたのは、ファミレスのバックヤードです。皿洗いのほか、サラダバーの補充、カトラリーのセットなどを行いました。飲食のバックヤードの流れは、どこもほとんど同じなので、その後は飲食のバックヤードを中心に応募し、中華料理店、大手カフェチェーン、ホテルの宴会場、大手牛丼チェーン、個人経営の飲食店などで働きました。大阪のキタやミナミの個人経営の飲食店の多くは、店が狭くて着替える場所がないので、トイレで着替えるのが当然でしたし、私物を置く場所もないので、洗い場の隅に私物や靴をゴミ袋に入れて置いたこともあります。食品衛生上いかななものかと感じました。飲食店のバックヤードで働くと、店の管理体制や衛生管理意識がよくわかります。

Amazonなどの物流倉庫で商品を集めて回るピッキングという仕事もやりました。ここには1台100万円もするAIが搭載されたピッキングカートがありました。カートの画面にはAIからの指示が表示されており、「A-4の棚に行き、角瓶を5本入れる」とか、「B-12の棚に行き、酎ハイを何本入れる」といった指示通りに倉庫を回ります。AIの指示通りに動くと、きれいに一筆書きの経路で倉庫中を回ってピッキングが完了するのです。この的確な指示は、人間の力では絶対に出せないと思います。ピッキングの仕事は気楽でしたが、作業が早く終わると早上がりにされて賃金がカットされてしまいました。この対応には呆れましたが、とにかく疲れていて早く帰りたいだったので、その30分の賃金回収は諦めました。

このように、週60時間働きながら研究を続けていたのですが、7カ月続けたところで倒れてしまいました。副業を行う際には、労働時間をきちんと自己管理することが重要だと痛感しました。

### タイミーでの就業の流れ

タイミーでの就業当日の流れは、次のようになっています。まず店舗に行き、店舗にあるタイミーのQRコードを自分のタイミーアプリに読み込み「チェックイン」します。それから着替える必要があれば着替えて、時間になったら仕事をはじめ、契約終了時間になると店舗側から「すぐに仕事上がってください」と指示があり、同じようにQRコードを読み込んで「チェックアウト」します。そして、アプリ上でワーカー(以下タイミーさんとします)からの評価を書き込んだら、即日給料が振り込まれます。最近ではタイミーさんからの評価や、後述する店舗側からの評価などをもとに、タイミーのアプリ上でタイミーさんに「おすすめのお仕事」を表示するアルゴリズムがあるとも聞いています。

なお、「二度とこの現場で働くものか!」と思ったら低評価をするタイミーさんもいます。一緒に働いた50代の女性タイミーさん(病気休職中で生活に困窮したので、タイミーで稼ぎたかったそうです)は、事前にメッセージでLサイズの制服を準備してほしいと要望していたにもかかわらずSサイズの制服が用意されており、自分でLサイズを探していたら着替えに時間がかかりすぎたとパート店長に舌打ちされたことに激怒して、最低評価を書いていた。

なお、雇用側もタイミーさんの評価を行います。私は39回、合計150時間働き、雇用側からのGOOD率100%で“MASTER”(最上級)と評価されています。基本的に、遅刻をせず普通に仕事をこなせばGOODになるようですが、この評価は人力で行っているようです。大手カフェチェーンやホテル宴会場の担当者さんは、私の仕事ぶりへの評価として、「今日も助かりました。ありがとうございました。また来てくださると嬉しいです」などというコメントをいつも書いてくださいました。ただし、このような丁寧な対応をする店舗はまれなため、そのような店舗は、タイミーさんに人気の現場となっています。

このように店舗側から気に入られると、自分のアプリに店舗から直接「お仕事依頼」が届き、他のタイミーさんよりも優先的に現場に入ることができます。このシステムを利用して、私は大手カフェチェーンとホテル宴会場で、タイミーさんとして「日々雇用」を繰り返すかたちで働き続けました。

### どんな人が働いていたのか

コールセンターもタイミーで行ったさまざまな現場でも、一番多く就業していた年代は、40代から50代の男女でした。ほとんどが正社員や派遣社員として働きながら、本業の終業後や、休日に働きに来ていたので、ここでは「正社員タイミーさん」と呼ぶことにします。「正社員タイミーさん」が働く理由として圧倒的に多かったのが「働き方改革で残業や休日出勤ができなくなり給料が下がった」という声でした。みな住宅ローンや子どもの高等教育費の負担を抱える世代でもあり、必死で仕事を覚えて働いていました。

お金が目的ではなく、人恋しさに働くタイミーさんもいました。フルリモートで働くIT企業の20代の正社員は、自宅でただ一人毎日を過ごす孤独感にさいなまれて、「生身の人間と関わりたい」のだと飲食店のホールに「正社員タイミーさん」として働きに来ていました。

その一方で、若い「正社員タイミーさん」、とくにケア労働などのエッセンシャルワーカーの方々が、本業の安い給料では生活できないため、タイミーなどで定期的に働いている事例もありました。20代の保育士の女性は、週3日20時から23時まで本業の保育の仕事に加えて働くことで「家賃が支払えている」のだそうです。20代の介護士の男性も、夜勤明けのその足で働きに来ていました。現在のタイミーでとても多い求人が、介護士・保育士・学童指導員です。本来は資格が必要な仕事であっても、無資格の人にさせている例があると聞きます。その他、建設業などの職人さんもいました。雨の日は現場が稼働しないので、タイミーで少しでも稼ぐのだそうです。

女性に多いのが、フリーランスや個人事業主の方々です。カフェ経営者や、士業、社会福祉関係の方とは、よく一緒に働きました。本業の収入が不安定なため、時間に融通がきくプラットフォーム労働で収入を補填しているとのことでした。

また、自治体の会計年度任用職員の女性も、コールセンターを併用して働いていました。会計年度任用職員といっても一年中仕事があるわけではなく、仕事がない1ヶ月をコールセンターでしのぎ、また次月から会計年度任用職員に戻るということを2〜3ヶ月おきに繰り返しているとのことでした。

### タイミーからの引き抜き案件には気をつけよう

タイミーには、店側が気に入ったタイミーさんを正式なアルバイトとして引き抜ける制度があります。タイミーさんを雇用した企業はタイミーに手数料として時給の3割を支払う必要があるため、直接雇用した方が、人件費が安くなるためです。最近のタイミーの求人を見てみると、「1時間限定お仕事体験、履歴書持参ですぐにアルバイト雇用！」というような案件が多くありますが、これは直接雇用につながるという意味ではプラットフォーム労働より安定していると考えてよいのかには、注意が必要です。私はこの制度で、タイミーさんとして2回行った回転寿司店のアルバイトになりましたが、散々な目に遭いました。

この回転寿司店では、正社員の派閥対立に巻きこまれるわ、正社員からパワハラを受けるわ、果てには別の「前期高齢者タイミーさん」からのセクハラを受けるという、私の日常生活ではあり得ない出来事ばかりが起きて、ある意味新鮮な体験でした。しかし、何より許しがたかったのが、労働時間の計算が15分単位で切り捨てられていたことです。私は自分のスマホに労働時間をメモしていたので、給料明細と比べたところ、1カ月で4時間分ただ働きをした計算になっていました。あまりにも腹が立って、労働基準監督署に電話をしたら、「労働時間の切り捨ては許されず、これは真っ黒な案件です。未払い賃金を店側に請求することはできます」と言われ、他の同世代の女性パートさんたちに、「未払い賃金もらおうよ」と声をかけました。しかし皆「雇ってもらえているだけでありがたいから」と消極的な対応で、労働者の連帯は難しいと実感し、私はこの店を辞めました。しかし、この店は、タイミーさんに対しては、働いた分の時給は1分単位で支払っています。プラットフォームを介した場合は、店舗側の勝手なルール変更は許されないからです。通常のアルバイトのほうが、違法な状態がまかり通っている場合もあるかもしれず、皆さんも気をつけてください。

### プラットフォーム労働が必要とされる背景

雇用側の立場からすると、飲食店などで最も悩ましく大変な仕事が、アルバイトのシフトを組むことなのだそうです。アルバイトの突然の欠勤などに対応するためにも、費用がかかってもタイミーを利用するほうが楽なのだと、ある店長はおっしゃっていました。ただし、タイミーさんによる窃盗などの問題も起きており、長男の会社ではタイミーさんのようなスキマバイトは使わないという方針になったとのこと。また、アルバイトで雇用すると「どの業務ができるようになったか」というスキルアップに向けた教育を行う必要があり、店舗側の負担は増えます。しかもそこまでしてもすぐに辞めてしまうアルバイトも多いので、店舗側がスタッフ育成にかける労力とは釣り合いません。

プラットフォーム労働は、労働者のスキルアップを可能にする働き方でしょうか？ それは職種や現場環境、労働者の意識によって違ってくると考えています。私は、お金をもらって働く以上はお店に貢献したい、さらに自分のスキルアップも実現したいと考えながら働いていました。そのため、私は、他の方に仕事を引き継ぐ際に工夫をしたり、他のタイミーさんやアルバイトのフォローに入ったりして、仕事をスムーズに進めようとしていました。このような経験を、労働問題専門の弁護士に話したところ、「自分がやりがい搾取されていることも分からないのか」と面罵されまし

た。彼からすれば、私のような働き方は、ただ雇用側に利用されているように見えるのでしょう。しかしそういった見方は私からしたら一面的で偏っています。会社経営をしていると不条理なことも多いので、直接店舗からの評価を受けることができ、たとえ簡単な仕事でもフィードバックできる「タイミーさん」としての私の経験を、やり甲斐搾取と捉えるか否かは、私自身の自由です。

### スキマバイトが支える社会のためにワークルールの周知徹底を！

年収の壁のために扶養内パートや学生アルバイトが就業調整を行う11～12月は、その穴を埋めるために正社員タイミーさんが大量に働いていました。とくに氷河期世代の正社員タイミーさんは「失われた30年」を生き抜いてきたため、皆さま本当に有能な方ばかりでした。顔なじみになると、「あのファミレスの洗い場天国よ」など、コソッと楽な現場情報の交換なども行っていました。日本社会で日常化している人手不足を支えるのは、タイミーさんなどのスキマバイトと外国人労働者です。最近では、60代以上のタイミーさんもどんどん増えています。

「人間らしい働き方」とは何なのでしょう。私はアルバイトで働いた回転寿司店があまりにもひどい現場だったので、単発で決まった時間だけ働くタイミーのほうが、もし嫌な現場なら次は行かなければいいという点で、私にとっては人間らしい働き方でした。実際、コールセンターにせよタイミーにせよ、好きな現場には継続的に入っていたので、正社員や他のタイミーさんとも人間関係を築き、楽しく仕事をこなしていました。なお、私は、「短時間、店のお手伝いをやっている」という意識で働いていたので、自分自身が「タイミーさん」と呼ばれることに抵抗は全くありませんでした。

こんなに環境のいい現場ばかりじゃない、というご指摘も当然あるでしょう。私はたまたま運が良かっただけかもしれません。でも、フルキャストで連続して求人が出ている現場は、現場を仕切るお局古参パートのせいで大変人間関係が悪く人が続かない、といったワーカー同士での情報交換や、タイミーで仕事を探す際には、アプリに掲載されている各店舗の口コミを熟読したり、Googleで会社情報を検索したりと下調べを行い、場合によっては店舗まで行って雰囲気を見て、「ヤバイ」と思った現場には応募しませんでした。いくつかは外れくじを引きましたが…。

最後にお伝えしたいのが、ワークルールの周知徹底の重要性です。正社員でもアルバイトでもプラットフォーム労働者でも、着替え時間が労働時間に入ることなどわかって働いている人はほとんどいませんし、労働時間1分単位の原則も正社員やアルバイトでは守られていない事例が多いのです。雇用側も、労働者の無知につけ込んで、人件費のコストカットを行っています。

プラットフォーム労働を取り上げる際には、その働き方が、雇用労働なのか、個人事業主なのかという点が焦点になりがちです。しかし、雇用労働の世界でも、これまでのパートやアルバイト、日雇い派遣などとは違った働き方が、プラットフォームを介して広がりつつあります。本業だけで生活できる収入を得られる人もいれば、いくつもの仕事を掛け持ちして収入を得ている人もいます。収入のためにプラットフォーム労働をしている人もいれば、そうでない理由で働いている人もいます。プラットフォームを介した労働力の取引は、新しい形態なので不安もあり、もちろん問題点もありますが、雇用側のメリット、働く側のメリットもあります。

以上、私の経験としてお話をさせていただきました。ご清聴ありがとうございました。(拍手)